

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室『クラ・ゼミ』大曲校			
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	27
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日 ～ 令和7年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さまに寄り添った気持ちの汲み取りや発達の見取りが適切であり、それを踏まえて、多様な視点からの話し合いや共有がその都度行われる体制ができていること。	一人ひとりのお子さまの表情や言動から抱えているものなど、個別に継続的に関わることで見えてくる様々なお子さまの姿を関わった指導員が伝える。それを踏まえて、職員間で情報共有し、支援プログラムへと反映させている。同時にご家族様の思いを大切にしながらもお子さま自身の思いの尊重を大切にしている。	・互いの支援を見学する機会を取り入れていく。 ・教育現場の現在の状況把握に努め、個々に応じたSSTスキルなど、研修等を通じて高めていく。
2	お子さまを真ん中にご家族様の思いを丁寧に傾聴し、全職員で捉えて、様々な提案、支援の提供と一緒に考えていくことができる温かな教室の雰囲気作りができていること。	お子さまを真ん中にご家族様の思いを丁寧に傾聴し、全職員で捉えて、様々な提案、支援の提供と一緒に考えていくことができる温かな教室の雰囲気作りができていること。	・専門知識を一層学び、質の高い支援を提供できるよう、各自、自己研鑽をしていく。
3	地域で育つお子さまへ、様々な関係機関と情報共有ができる連携が図れていること。	地域の関係機関との連携。 ・大仙市5歳児相談会へのスタッフとしての参加。 ・近隣の教育機関等との担当者会議への参加。 ・大仙市自立支援協議会及び児童支援部会への参加。	・お子さまが通われている学校への支援報告を積極的に行っていく。 ・将来を見据えた選択肢（進学・就職等）につなげる情報を得る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信（SNS等）の機会が少ないこと。	作成担当チームを決めてはいるが、発信作業時間の確保がやや困難なことが多かったため。	イベント案内のみならず、日々の活動の様子や防災訓練等、様々なトピックス等を定期的に回数を増やして発信していく。
2	小集団活動の回数を増やしていく必要がある。	個別療育による伸びが見られ、次のステップとしての支援が必要なお子さま、コミュニケーションを課題とされているお子さまなどへの小集団活動の機会の時間調整が図れていない。	積極的なご案内及び時間調整を図り、小集団療育の頻度を増やしていく。
3	お子さまの成長には、全身を捉えて、発達を促すことが必要とされている一方で粗大遊びを取り入れた活動がやや少ないこと。	活動スペースの狭さと共に同時時間帯に利用されているお子さまに影響を与えてしまうことがある。	在籍している理学療法士を中心に限られたスペースで行うことができる動作アプローチの仕方を職員間で研修する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室『クラ・ゼミ』大曲校

公表日 2026 年 2 月 14日

利用児童数

30

回収数

27

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	8	1	2		・ご不便をおかけしております。 安全なスペースの確保をしながら活動ができるよう努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1	0	1		・配置基準を満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	7	0	1		・テナントを利用した校舎構造となっているため、玄関等はバリアフリー構造にはなっておりません。教室内は、お子さまが感覚的に安心感が持てる空間づくりに配慮しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	1	0	0		・一層、清潔で快適な活動空間を保てるよう、徹底してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28	0	0	2		・事業所HPで支援プログラムを公表させていただいております。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	0		・お子さま一人ひとりに合わせて支援内容を設定させていただいております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	30	0	0	0		・スモールステップで支援することで、固定化しているプログラムもございますが、今後も様々な視点から活動できるよう工夫してまいります。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	7	8	5		・クラ・ゼミでの活動では現在、交流は行っておりません。
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	1	0	0		・契約時に契約書及び重要事項説明書をもとにご説明させていただいておりますがご不明点がございましたら、いつでもお問い合わせください。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	30	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1	5	5		・相談援助としての家族支援は随時行っております。ペアレントトレーニング等に関しては、他事業所で開催されるリーフレット等でご案内しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	30	0	0	0		・引き続き、情報共有に努めてまいりますので、ご協力お願いいたします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	1	0	0		・毎回、活動後は当日の様子等をご報告させていただいております。お気づきの点やご相談等ございましたらいつでもお申し出ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	1		

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	7	10	6		・定期的にイベントを開催しております。兄弟児さんにおかれましては、今後検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	2	0	4		・毎回、活動後は当日の様子等をご報告させていただいております。お気づきの点やご相談等ございましたらいつでもお申し出ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2	0	3		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	5	4	6		・ご家族様への活動報告の充実を図っておりますが、SNS等での発信が滞っており、申し訳ございません。今後、発信回数を増やしていけるよう改善いたします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	1	4		・十分留意しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1	2	6		・マニュアルは策定しております。訓練についても指導員全員が定期的に研修・訓練を受けております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1	2	9		・様々な災害を想定し定期的に防災訓練を行っています。（火災、地震、水害、不審者、爆発、竜巻、水害、雪害）
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	26	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	21	2	0	7		・契約時の重要事項説明書に記載、ご説明させていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	0	0	0		・貴重なご回答ありがとうございます。今後もお子さまが楽しみに通っていただけるような支援プログラムの提供に努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	29	1	0	0		・貴重なご回答ありがとうございます。遊びを中心とした楽しい活動を通し、発達を促していくことができるような支援プログラムの提供に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室『クラ・ゼミ』大曲校				公表日	2026 年 2 月 14 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・お子さまに応じた個別の配慮ができるようパーティションで区切ったり、活動内容に応じてブースを広くし、安全を考慮した環境づくりをしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・支援毎にお子さまの活動動線上に危険なものがないよう安全に配慮している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・様々な視点から専門的意見を出し合い、活動プログラムに反映している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・プログラム内容がどのような発達につながっていくかを職員間のみならず、ご家族へと具体的に伝えられるように全職員でその都度共有して支援に向かっている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・当日のミーティングにて内容、役割分担の他、配慮事項等において全職員で共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後のミーティングにて情報共有や引継ぎ事項等を漏れなく共有する機会を持っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・記録を確認することで次の支援へ活かすことのできるの共有が図れるよう、具体的な内容を意識している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		・HPやブログ等の更新頻度を増やしていけるよう努める。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・毎月行い、必要に応じて更新している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・毎月行い、必要に応じて更新している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・必要な心身の情報は、契約時及び計画更新時以外にも随時、お声がけし、共有漏れの内容に工夫している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・対応職員が時系列で詳細を報告書記入し、対策、改善について、すぐに話し合う機会を持ち、未然に防止できるように努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・毎月、法廷研修として、全職員が研修を受けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			